

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	英語演習		
英文授業科目名	Intermediate Seminars in English		
開講年度	2007年度	開講年次	2年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	奥 浩昭		
居室	東1 - 805		

公開E-Mail	授業関連Webページ
oku@hc.uec.ac.jp	http://www.oku.hc.uec.ac.jp/

【主題および達成目標】
(a) 主題：科学者の書いた英語に触れ、慣れる。 (b) 達成目標：辞書を引かなくても、文章の大意を把握できる。

【前もって履修しておくべき科目】
一年次の必修科目英語の単位を取得していること。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】
テキスト Stephen W.Hawling : A Brief history of Time

電気通信大学 平成19年度シラバス

【授業内容とその進め方】

1. 2～3名のグループを作る。グループ毎に、課題英文の要旨をHP上で報告。
2. 授業での発表と議論。
3. 語彙力強化のため、語源による説明を行なう。
4. (実力小テスト) 語彙力と構文の理解を問う小テストを毎回行なう。評価には入れない。ただ優秀者には、ボーナス点を支給。
5. 言語自習室の学習(4種類あります)：週1時間。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

1. 課題と発表：4割
2. 昼間試験：1.5割 学期末試験：2.5割
3. 言語自習室での額種：2割

【オフィスアワー：授業相談】

月～金の5限：言語自習室で英語学習のアドバイスを行ないます。

【学生へのメッセージ】

現時点での英語力は問わない。
科学者の書いた英語を理解したいと望む学生に来てほしい。

【その他】